

高岡市立博労小学校 学校だより



ホームページ <https://bakuro-e.takaoka-school.jp>



学校教育目標：人間性豊かに、自らを高め、たくましく生きる子供の育成

深まりゆく秋 静かに実る学びの季節

校長 森田 芳栄

二上山の木々が紅葉し、赤や黄金色に錦を織りなしています。一方、遠くに見える立山連峰の頂はすでに雪化粧をしています。色彩豊かな自然の美しさや雄大さを味わうことができることに、改めて富山の魅力を感じます。

11月は、あえて言えば「静かに深まる学びの季節」です。子供たちは日々の授業や生活の中で、落ち着いて思考を深め、確かな成長を遂げています。教室をのぞいてみると、あるクラスでは、国語の物語文や説明文の読み取りに時間をかけ、自分の考えをしっかりと表現したり、ノートに書き込んだりしています。また別のクラスでは、理科の実験で失敗と成功を繰り返しながら、グループで協力して課題を解決する力を磨いています。算数では、難解な問題に頭を悩ませながら、友達の「なるほど!」の一言で一気に理解が広がる瞬間が見られます。



大きな行事での成功体験はもちろん重要ですが、このような日常の地道な積み重ねが子供たちの学力と人間性を形成する土台となります。毎時間の授業、日々の宿題、友達とのささいなやり取りの中で、「分かった」という喜びや「次こそは」という悔しさを感じながら、子供たちは内なる力を着実に養っています。

さて、「読書の秋」といいますが、11月は「ふるさととやま読書月間」でした。学



校では、富山県にゆかりのある本を県立図書館からお借りしたり、週末には2冊借りられるようにしたりなど、子供たちによりよい読書習慣が身につくよう工夫しています。また、4年生は実際に本を手に取りたくなるよう、おすすめの本のポップを作成してくれました。本が好きな子が一層増えてくれることを願っています。

しかし、子供を取り巻く生活環境の変化に伴い、子供たちの年間読書冊数は全国的に減ってきているそうです。これは、ネット上のおすすめ動画などから情報を受動的に得られることも一因に挙げられるようです。目的もなく流し見する動画等は、一時的な刺激として処理され、知識としても深く定着しません。また、これが習慣化してしまうと情報の本質や背景にある文脈を理解しにくくなるそうです。

私は数年ほど前までは、面白そうな本はないかと、よく本屋に出かけていました。買うつもりはなくても何となくその時間が好きで行っていたような気がします。作者や題名に惹かれて購入する場合がありますが、表紙や帯に目を奪われてついつい買ってしまう本もかなりありました。でも、お恥ずかしい話ですが『積ん読』の名人でした。ネット注文が普及し、必要な本だけを購入するようになりましたが、心に余裕や遊びがなくなってきたような…。たまには本屋でゆっくり本を選んでページをめくり、想像力と共感力を静かに養いたいなあ、と思っているところです。



博労っ子日記「たいさんぼく」



【10月27日】（6年）
薬物乱用防止教室



【10月28日】（3年）
総合『タイムスリップ博労小学校』



【10月28日】（3～6年）
インターネット安全教室



【10月30日】（5年）
総合『防災・減災～ドローンの活躍～』



【10月30日】（4年）
図工『ランブシェードづくり』



【10月31日】（全校）
ランニング大会



【11月7日】（5年）
もの・デ科『デザインって?』



【10/20、11/10】（3、4年）
図書館ツアー



【11月12日】（小中児童生徒会）
小中合同さわやか挨拶運動



【11月12日】（6年）
総合『みんな幸せプロジェクト～保小交流～』



【11月18日】（2年）
生活科『まちたんけん』



【11月19日】（6年）
総合『みんな幸せプロジェクト～高齢者理解～』



【11月21日】（1年）
保小交流「秋のなかよしランドへようこそ」



【11月25日】（1年）
体づくり運動遊び



【11月不定期】（環境美化委員）
落ち葉清掃

